打力を開発力	プニイナ制効してしずいが療法を拡行された小細胞は原実者にも
研究課題名	プラチナ製剤+エトポシド療法を施行された小細胞肺癌患者にお     はる※熱性な内球ボル病のような思えの検討
TT 00 HORR	ける発熱性好中球減少症のリスク因子の検討
研究期間	2025年 10月29日 ~ 2028年 3月31日
研究の対象	2016年7月~2025年9月の間に広島大学病院呼吸器内科で小
	細胞肺癌に対する一次治療としてプラチナ製剤+エトポシド療法   
	を施行された方
研究の目的・方法	研究目的: プラチナ製剤+エトポシド療法を施行された小細胞肺癌
	患者において、発熱性好中球減少症(FN)の発症リスク因子を明ら
	かにすることです。また、FN 発症が治療効果に及ぼす影響につい
	ても副次的に調査します。
	研究の方法:研究対象者の診療録(カルテ)内にあるデータを使用
	して、FN 発症と関連のある項目を調査します。また、FN 発症の有
	無で治療効果に違いが出るか解析します。
研究に用いる試料・	情報:年齡、性別、喫煙歴、BMI、全身状態、併存疾患、内服薬、
情報の種類	放射線治療歴、手術歴、臨床病期、化学療法の種類および投与量、
	免疫療法併用の有無、顆粒球コロニー刺激因子製剤の予防投与の有
	無、血液検査結果、画像検査結果、肺機能検査結果、FN 発症の有
	無、感染症発症の有無、入院期間、治療効果等
	試料・情報の管理責任者:広島大学病院呼吸器内科 助教 益田
	武
利用または提供を	2025年10月29日(実施許可日以降)
開始する予定日	
個人情報の保護	得られた情報から氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別でき
	る記述を削除し、代わりに新しく研究用の番号を付けて取り扱いま
	す。
外部への試料・情報	ありません。
の提供	
研究組織	本学の研究責任者
	広島大学病院呼吸器内科 助教 益田 武
その他	
研究への利用を辞	研究に情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしく
退する場合の連絡	はその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませ
先・お問合せ先	んので下記の連絡先までお申し出ください。お申し出による不利益
	が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文
	などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に
	基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。
	なお、公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれ
	ません。
	また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせ

ください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。

広島大学病院 呼吸器内科

担当者:伊藤 徳明、益田 武

〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3

電話番号:082-257-5196